修景施設としての雨水活用

発表者：麓　雄二

雨水利用を楽しく永く継続的に活用するために、庭を構成する一部として調和がとれ日常生活に溶け込む「形」をご提案いたします。また給水コントロールには電力は使用せず「浮き」の働きにより制御され機械的ではない、ゆったりとした水の動きを視覚と音で楽しめる装置です。最後にこの施設を動画にて見ていただき、今後の雨水活用普及にお役にたれれば幸いです。

修景施設としての雨水活用

活動テーマ

雨水利用を楽しく永く、継続的に活用できる施設づくり。

施設づくりのポイント

- 水の流れ・動きを視覚的に楽しめる。
- 水の流れを音で楽しむ。
- 利用者自らがデザインし、変化を楽しめる。

各施設事例の特長

- 事例ーA　「竹筒」
- 事例ーB　「流れ」
- 事例ーC　「モニュメント」

事例ーA　「竹筒」

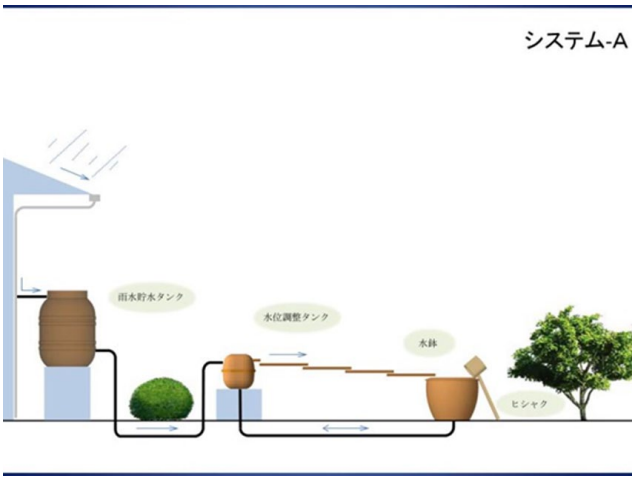
- 竹筒を使用したことで和風の雰囲気を醸し出し、更に周囲の樹木・敷砂利等で奥行きのある庭が演出できます。
- 竹筒を伝わり出る水の音が楽しめます。
- 水鉢を覆う竹製すだれは開閉もし易く、使い勝手の良い「蓋」となっています。

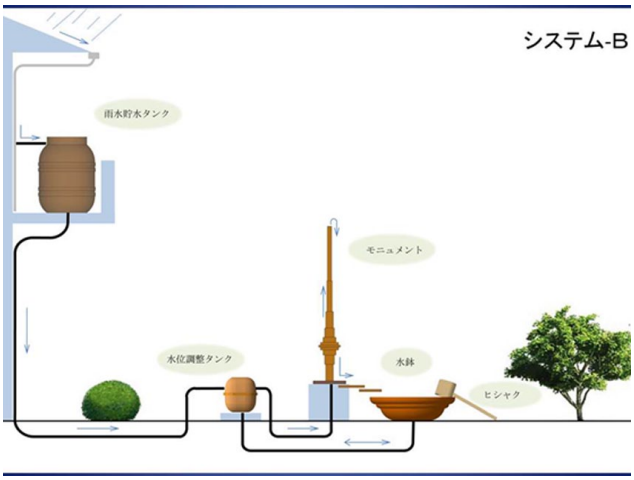
事例ーB　「流れ」

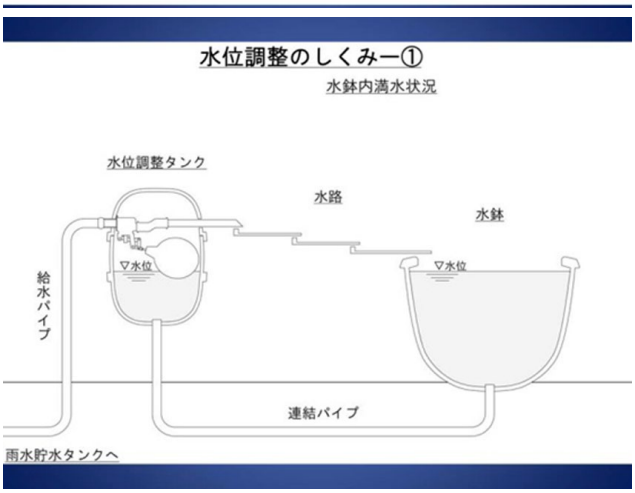
- 陶製の水位調整タンクから注がれた水は、同じく陶製の水路を伝わり水鉢へと流れます。この流れの様を視覚と音で楽しめます。
- 水位調整タンクや水路の高さ・勾配・配置を変えることで水の流れの変化や音の違いを楽しめます。

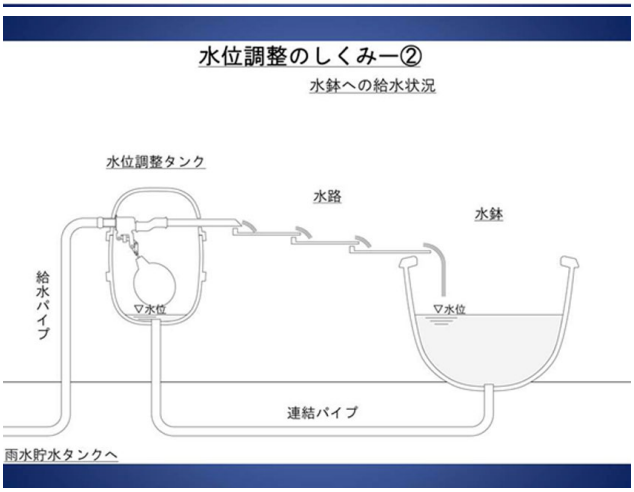
事例ーC　「モニュメント」

- 貯水タンクを二階ベランダに設けることで、一階に据えた水鉢への給水が高所から行なえ、滝のように水を落下させるなど多様なデザインが可能となります。
- 今回の事例では陶製モニュメントの頂部から水を流しましたが、他に石を積み上げるなど、材種・形状を変えて楽しむことができます。







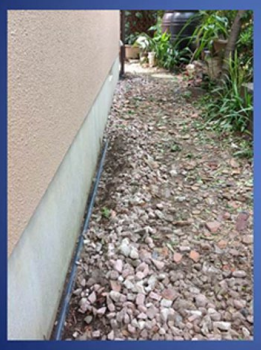


システム内各部位

- 取水部
- 取水・給水パイプ
- 貯水タンク
- 水位調整タンク
- 水鉢

取水部

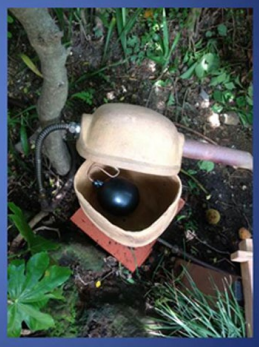
取水・給水パイプ



貯水タンク

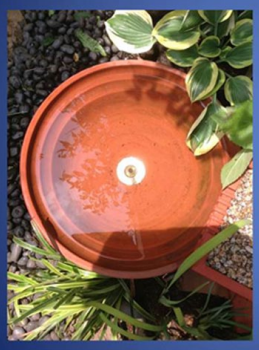
水位調整タンク-①

水位調整タンク-②



水鉢-①

水鉢-②



今後の課題

- 新しい仕様・デザインの開発
  （事例を増やし幅広い雨水活用方法の提案）
- オリジナル水鉢製作の確立
  （現状は大型植木鉢をアレンジして使用）
- 貯水タンク設置場所の新たな提案
  （敷地内デッドスペースの有効活用等）

最後に動画にて「モニュメント」の
事例をご覧ください

ありがとうございました